

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 6月号

1. 五輪への食材提供を目指す大山ブロッコリーを学校給食に提供

東京五輪・パラリンピックの食事施設などで選手に食べてもらうことを目標に、JGAP認証の大山ブロッコリーを丹精込めて栽培してきた。

しかし東京五輪の延期が決まり提供が不可能となったため、5月13日、地元の小中学校や保育所、保育園など9箇所の給食に無償提供した。



2. 工事の安全祈願。小水力発電所起工式

所有する米沢小水力発電所施設設備の更新工事を行うため、江府町で5月18日、地鎮祭・起工式を開いた。

宮司による清めの儀式や鍬（くわ）入れの儀式、玉串奉奠（ほうてん）などの神事で、工事の安全を祈願した。



3. 地元小学生が女性会と田植えに挑戦

米子市立淀江小学校で5月29日、女性会淀江支部らの協力の下、学校に隣接する田んぼで恒例の田植え体験を行った。食の大切さを学び、農業に慣れ親しんでもらうこと等を目的にしている。

参加した児童は「初めて田植えをしたが、みんなと協力してできて楽しかった。苗の生長が楽しみ。」と笑顔で話し、「良い経験ができた。」と同女性会らへ感謝の言葉を送っていた。

